

北海之光

8月号 北海道教区報

主にあってはあなたがたの
労苦がむだになることはない
コリントI 15章58節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp

http://www.nssk-hokkaido.jp

発行人 植松 誠

あなたが教え、あなたが共に祈って 下さるので

札幌キリスト教会牧師・有珠聖公会管理牧師

司祭 ペテロ 大町 信也

弟子たちは、イエス様にど
のように祈ったら良いのかを
尋ねました。その願いに応え
イエス様は一つの祈りをお教
えになりました。私たちが日々
唱える「主の祈り」です。主
イエス様が直接教えて下さつ
たという事実の中に、この祈
りの特別な意味があります。
それは、「主の祈り」において
は、私たちの祈りに先立って
神様の心(祈り)がそこに示
されているからです。それは、
神様の私たちに對する招き・
決意・宣言・約束でもあります。
「主の祈り」の中には、私たち
に先行して主語としての神様
がおられます。「主の祈り」を、
神様ご自身を主語とする神様
からのメッセージとして受け
止め直してみたいと思います。
天におられる私たちの父よ、

(神である) 私は、天にいま
す。あなたたちが、神などい

ないと叫ぶ時にも私はいま
す。天にいて、あなたたちから
ひと時も目をそらしたり、耳
を塞ぐことはありません。
私は、あなたたちを子と呼
びます。ですから、あなたた
ちは私を「アツバ・父よ」と
はばからず呼んで良いのです。
子どものように無力な自分を
差し出し全てを私に委ねなさ
い。

み名が聖とされますように。

(神である) 私は、あなた
に私の名を示します。羊飼
いが自分の羊の名を呼ぶように、
私は心を込めてあなたたちの
名を呼ぶからです。そのよう
に呼び交わす霊的な繋がりの
中で、あなたたちは、私の独
り子、イエス・キリストの名
によって祈ることができると
です。

み国が来ますように、み心が
天に行われるとおり地にも行

われますように。

天には、(神である) 私自
身が愛をもって全てを守り治
める現実があります。しかし、
地上の被造物がひどく傷つき
破れ損なわれていることを私
は知っています。私の独り子
イエスの生涯を通してその傷
や痛みは今や完全に私のもの
となつていきます。天の現実を、
損なうことなくそのままに地
上に回復することが、私の切
なる意志です。そして、その
実現のために私と共に働くよ
うにとあなたたちを招きます。
わたしたちの日ごとの糧を今
日もお与え下さい。

(神である) 私は、あなたた
ちが日々欠乏に直面している
ことを知っています。力や富
の独占が多くの人々に飢えと
渇きと死をもたらしている事
に、私は悲しみ憤つています。
すべての人が満たされる「今
日」を、共に実現するために、
私はあなたたちを招きます。
わたしたちの罪をおゆるしく
ださい。わたしたちも人をゆ
るします。

(神である) 私は、あなたた
ちが罪に苦しみ悶えているこ

とを知っています。私は、そ
の罪がもたらす束縛の一つ一
つにコミットし、罪に苦しむ
あなたを、ないがしろにする
事は決してありません。そし
て罪から解放される道は、先
ずあなたが人の罪を赦すこと
です。そのために、私が十字
架の上で模範を示した事をい
つも思い起こして下さい。

わたしたちを誘惑におちいら
せず、悪からお救いください。
あなたたちは、様々な誘惑
に取り囲まれていることを私
は知っています。そして、そ
の誘惑が、あなたが大切にし
てきたものを台無しにし
てしまう事を私は心配してい
ます。私に立ち返りなさい。(神
である) 私だけが、あなたを
悪から救い出すのですから。

「主の祈り」の隠れた主語
は神ご自身ですが、主イエス
様が共に祈って下さる事を通
して「わたしたち」の祈りと
なります。そしてその祈りは、
ついに主への賛美となります。
国と力と栄光は、永遠にあな
たのものです。アーメン

(六、二二有珠聖公会での説教より)



—心の窓をひらいて—

福音と私 (二二九)



—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

留萌キリスト教会信徒

ルツ 金 岩 美穂子

私の愛する聖句

「あなたを呼び求めます

神よ、わたしに答えてください。わたしに耳を向け、この

訴えを聞いてください。

慈しみの御業を示してください。

さい。

瞳のようにわたしを守り

あなたの翼の陰に隠してください。」

詩編一七六

● 信仰の系譜

わがやの初代のキリスト信者は曾祖父直平でした。直平は明治の元勲岩倉具視に仕えた人で、元来の姓は高倉でした。祖父は岩倉よりも高いことをはばかり故郷出身地名の「伊佐津」と改姓、明治一〇年の西南の役で西郷隆盛軍に身を投じ、破れて政治犯として樺戸集治監獄で服役、そこで有名な留岡幸助牧師から洗礼を受けました。子の富郎はとても器用な人で、留萌キリ

した。気丈で涙一つ見せない母でしたので、私たち三娘には明るくふるまい、死の危機を微塵も感じさせませんでした。

● 脱 北

一九四五年八月日本との相互不可侵条約を破棄したソヴィエト・ロシアは日本への宣戦布告、まもなく、ロシア兵、朝鮮民警隊が来て、社宅からの退去命令、母は乳母車に鍋釜を積み込み、とある長屋でのひもじい生活、塩魚二匹、その塩味で嫁菜、はこべ等野草を食べました。

国が負けた時、外地の邦人を誰も守ってくれない、国が無くなる時は死を意味すると私は知りました。

やがて父の手紙を持参した。手紙には、北朝鮮の難民に混じって南朝鮮への脱出を指示、このとき母三十歳、未婚を塗り、私と妹は汚れたブラウス、もんぺ姿。目的地に着くまで日本語の使用は厳禁されました。汽車の中で妹が目覚めて「お母さん」と言いました。これを民警隊が見てい

ました。母はすぐ妹の口に自分の胸を押しつけました。危険を感じた母は下車、そこでも民警隊が銃口を突きつけ検問。それから夜陰に紛れての逃避行。難関は銃口監視の渡

河。私と妹は朝鮮人の肩車に、母は下の妹を「朝鮮おんぶ」、胸までつかりながらついに対岸上陸できました。6人で抱き合い喜び、涙の中で感謝の祈りを捧げました。

● 美容院事始め

これは私にとり奇跡です。今私たちが日本に住んでいるのは神さまに守られたからです。更に伊佐津家の祖父父母の篤い信仰とお祈りによるものです。

引き揚げ帰国後、母は親と別れがたく、留萌に住むことにし、父母は留萌十字街で露天商を開始、父は遠くまで商品の仕入れに出かけ、私は学校を中退し店番、母は意を決して東京の山野愛子美容学校への入学上京、半年後国家試験合格し、留萌で美容院開店、私も手伝うことになりました。

● 恩寵七〇年

それから神様のお守りによ

り六九年の月日が経ち、父母、夫を天国へ送りました。今私は一人になり、私の周りには孫六人、ひ孫六人おり、代わる代わる来てくれます。

日曜日教会の礼拝への出席が私のただ一つの喜びです。祖父の作った「鷲」形の聖書台で聖書を朗読できることを誇りに思い、感謝しております。

私の安息日は

「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神、主の栄光は天地に満ち、いと高きところにサホナ」と歌い、先に旅立った人々と共に喜びを味わうことが私の義務と喜びです。

神さまからいただいたこの命を大切にし、もしできれば主イエス様のおそば近くにおらせて下さることを願いつつ努力してまいります。

父が昔、八代斌助主教様からいただいたその揮毫の色紙は我が家の宝です。我を瞳のごとく守り御翼のかげにかくし給え

詩編一七・八

常置委員会報告
第九回 七月一九日

《協議事項》

- 一、教区会の件
- ・十一月二二日(金)～二三日(土)
- ・書記、聖餐式説教者、議案
- 二、植松主教海外出張の件
- ・首座主教会議(二〇二〇年一月二二日～一八日、於ヨルダン)への出張を承認した。
- 三、教区事務所人事の件
- ・田中春樹さんの退任に伴い、金内淳子さんを教区事務所副



主教室より

晩年、認知症となった父が、母に連れられて病院に行った時の事、お医者さんは父の認知症の進み具合を検査するために、いくつかの質問を父にしました。今朝は何を召しあげましたか。それに対して父は、「ぼくは何でも食べる」と答えたとのこと。「もう少し具体的に」と医師。父は少し機嫌を損ねたように、「だから、ぼくは何でも食べる」と。そこで医師は、「それではこの方はどなたですか」と母を指さして聞きました。父は答えられませんでした。「それではもう一度お尋ねします。この方はどなたですか」。長い沈黙の後、父は、ゆっくり

について話しあった。
主事及び学法・社法主事代行に任命することとする。さらに職員一名を加える方向で人選を行う。
四、クリスチャンのためのキャリアデザイン開催の件
・聖公会神学院校長佐々木道人司祭を囲む同プログラムの
合掌し、おもむろに「祈る人」と答えたそうです。たまたま海外から帰国していて、そこに立ち合った妹からこの話を聞きました。
私の幼少時から、両親が一緒に祈る姿を見てきました。特に、母が忙しかった医師の仕事を引き退してからは、いつも朝夕、名古屋では主教邸の礼拝堂で、そして父の退職後は、大阪の小さなアパートの食卓で、朝の祈り、夕の祈りをしていました。私たちが訪ねていた時も、お客さんがいる時も、祈禱書を開き、詩編と聖書を読み、時には母のギターで聖歌をひとつ歌い、代禱表を開いて、世界の教会のため、日本の教会のために祈る二人の姿が必ずそこにありました。

両親が天に召された後、私たちは二人が祈りに使っていた祈禱書と聖書をもらってきて、それを使って同じように、食卓で朝夕の祈りをしています。聖書は、その日の箇所が色鉛筆で示してあり、かなり読み込まれて傷んでいます。時には、そこに父の書き込みがあるのを見て嬉しくなります。それまでは、それぞれの忙しさにかまけて、二人で一緒に礼拝することは少なかったのですが、今の時間は、私たちが夫婦にとって満たされた恵みの時となっています。
いずれ私が何もわからなくなつたときに、妻を見て、祈る人、と言えたらと願いつつ。
主教 ナタナエル 植松 誠

開催をすることを承認した。
五、「サビール」講演会開催の件
・講演会の開催を承認した。
六、北海道教区宣教一五〇年記念事業について協議した。
教区会に実行委員会設置に関する議案を提出する。

開催をすることを承認した。
五、「サビール」講演会開催の件
・講演会の開催を承認した。
六、北海道教区宣教一五〇年記念事業について協議した。
教区会に実行委員会設置に関する議案を提出する。



堅信式受領

おめでとう

札幌キリスト教会
ヴァレンタイン 和田 啓佑
七月二二日

(聖マーガレット教会にて)
旭川聖マルコ教会
アンナ 佐藤千代子
マルタ 有木サカエ
七月二八日

十 教区逝去教役者
記念聖餐式

九月二一日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教室聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 木末 登

一九六七年九月四日

司祭 本間 弥門

一九三九年九月八日

司祭 岡村 龍夫

一九八〇年九月一〇日

司祭 須貝 隆

一九九九年九月一三日

伝道師 門崎 まさゑ

一九七九年九月一五日

伝道師 A・M・ヒュース

一九五八年九月一七日

伝道師 E・E・ヒュース

一九三〇年九月一八日

司祭 柴田 新太郎

一九三四年九月二〇日





▽帯広聖公会

七月六日、音更町で長く洋品店を営んでおられたマリヤ及川和子さんが九四年の地上での生涯を終え主の御許に召されました。魂の平安とご遺族への慰めをお祈りします。

二二～二四日にかけて、北海道内の幼稚園、保育園の教職員の方々に於ける施設見学と夏季研修会が当地にて行われました。名古屋柳城短大より柴田智世先生をお迎えし、学びと交流の場が設けられ意義深いひと時となりました。

寺本先生は毎月、第四主日に聖餐式のご奉仕、間もなく九〇歳を迎えられますが、福音書を朗々と読まれる姿に感動を覚え深く主に感謝です。

▽旭川聖マルコ教会

おかしな天候で今がいつなのかわからなくなってしまうですが、暦はどんどん進んでいきます。

二日、婦人会主催の「イチゴ狩り」楽しい一日でした。

七日、毎月の逝去者記念礼拝日に、六月四日に逝去されたホドス佐藤貢さんの記念祈禱、その後墓地にて納骨式を行いました。魂の平安を。

二八日は主教巡回日。アンナ佐藤千代子さん、マルタ有木サカエさんの堅信式が行われ、礼拝後はお祝い会と主のご夫妻歓迎会を兼ねた愛餐会。さらにその後、マルコバザーに向けた会議を実施しました。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

六日、頌栄保育園運動会、園児たちは神さまの見守りの中で、元氣一杯頑張りました。

七日、誕生会と教会委員会。その後大楽毛の信者宅訪問。遺作の絵画の前で、夕ぐれのエマオへの道で♪を唱和、満たされた時でした。

一四日、涼しさを求め東京から長野さん来会。オリーブ

会では、学びの(食べ物の力は偉大)の話に盛り上がる。

真夏日を記録した二八日帯広の尾関敏明さんを講師に迎えて「原発はいのちと人間の尊厳を破壊する」をテーマに第九回脱原発学習会開催。熱く心に響いた会でした。

厚岸の佐田菊男さんは、日課のウォーキングで健康維持。恒例の宝塚観劇を楽しみに。

▽小樽聖公会

現在の街の規模と人口に比べると神社が多い小樽では、六～七月にかけて市内各所で神社のお祭りが毎週のように行われています。他にもシャ

コ祭り(今年是不漁による中止)や、「小樽潮まつり」が催され夏の観光シーズンを盛り上げています。海外からの観光客も多く、教会にも時々訪ねて来られる方がおられ、教会前で記念撮影をしたり、礼拝堂で静かに祈りをされる方もいらつしやり、共に旅の無事を祈るひとときとなつ

ています。

▽新冠聖フランシス教会

函館の藤井司祭さまより「出会いと交わりの日」に際しての丁寧なるお礼状が届きました。改めて、ご奉仕を感謝いたします。

夏草が生い茂る駐車スペースの草刈りを、山田さんのご子息の彰(あきら)さんがなさってくださいました。奥さんの行子(ゆきこ)さん共々、なにくれとなくお心に懸けてくださることを感謝いたしております。

冬期間の凍裂で傷んでいた玄関前のステップと階段、そして回廊の天井の修理がなされ、綺麗になりました。

▽稚内聖公会

七月の礼拝は二六日。人気のない建物には臭く、何と蜘蛛の巣まで！礼拝前に、教会、牧師館の全ての窓を開け放ち、新しい空気を入れる。

稚内としては異例な暑さでーと言つてもたいしたことはないがー仕事したら汗ダクダクー空気が入れ替わったところで、本原満栄さんと牧師の

二人で聖餐式。この日の福音書と説教は「マルタとマリ

ア」。礼拝後、二人の生き方についてあれこれと話し合つた。来月は、いよいよ道北分区の合同礼拝。この礼拝堂が参加者で一杯になることを楽しみに！

▽苫小牧聖ルカ教会

ちつとも太陽が出て来ず、涼しい毎日が続きます。

それでも聖ルカ幼稚園では良い天気の中、六日に運動会を行うことができました。子ども聖歌隊スマイル結成礼拝とお泊り会も滞りなく行われました。

一三日、教会は今年のはすカップジャムのため、厚真町の農園までハスカップ狩りに行きました。あいにくの天気でしたが、多くの収穫があり、感謝です。地震の爪痕はまだまだ残っています。お祈りのうちに覚えてください。

また、同じく一三日にシーフェアラーズセンターの海の日バーベキューが行われ、二隻の船から船員さんが来てくださり、一緒に楽しい時を過

ごしました。主に感謝
▽札幌聖ミカエル教会

四日、婦人会が幼稚園の子どもたちに昼食を提供する、なかよしランチの日。今回も好評でおいしくいただく。

七日、グレースの会総会。

他教会からもご出席いただき、渡辺澄子さんからタンザニアの想い出をお聞きし、そのお国柄が分かってきました。その日はまた、雨宮春子さんとインターネットで中継を繋いで直接近況を伺う。お元氣そうで何よりでした。

一四日、主教様の巡回に合わせ恒例のコイノニア(交わり)の日を過ごす。日曜学校で作ったピザ釜でピザを焼いて楽しみました。幼稚園、日曜学校ともに夏休みです。健康と安全が守られますように。

▽新札幌聖ニコラス教会

一四日は恒例の長沼町、シンフォニーの森での野外礼拝を実施。仲野勇二さん、メノビレッジのレイモンドさんたちと聖餐の恵みに与かる。同日、教会ではみ言葉の礼拝が

守られ、菊池姉の証を拝聴する恵みを与えられる。

二一日、サラ菊池まつ子姉の信徒奉事者の任命式が行われた。下田尊久兄と二人体制で教会の奉仕を担われますことに感謝。

八月二六日は上平執事の紹介でギタリスト豊田渉平氏を招き地域開放企画としてのコンサートが行われる。

▽函館聖ヨハネ教会

七月一四日、今金インマヌエル教会から八名、青森聖アンデレ教会から一名をお迎えして、合同礼拝。昼食後は二組に分かれて、元町教会巡りと外国人墓地巡りを楽しむ。

二四日、吉本正兄ご逝去(八九歳)、二五、二六日葬儀。横浜教区から当教会に移られ、信仰に生き、教会とともに過ごされたご生涯でした。

いつも誰にでも優しく接して下さいました。唯々感謝。

二八日、オーストラリア・メルボルン教区のグラント・モロー司祭休暇を利用して来教、説教。司祭により聖職の道を決意された熊坂登司祭

が通訳の労をとって下さる。感謝。

▽平取聖公会

広島大学教員の島津礼子さんが、バチラー八重子の研究のため四月、五月と平取聖公会と教区歴史文書保存委員会を訪ねて来られ、七月一九日には、八重子の資料が寄贈・整理されている「だて歴史文化ミュージアム」の調査に

来られた。建物は今年四月に開館した閉架式書庫方式で、事前に島津氏が申し出ておられたものを記者と一緒に閲覧させていただいた。日記、著作原稿や写真で、アルバムは養父バチラーの幼少期も含まれたものであった。貴重な機会が得られた事に感謝している。

▽札幌キリスト教会

七月五日、小倉トメ子さん、

一一日三浦光雄さんご逝去、召されし霊の平安をお祈りします。一四日、和田啓佑さんが洗礼の恵みにあずかり翌主日堅信を受けられる。二二日、教会創立記念日礼拝を捧げました。翌日、記念行事として

三浦綾子記念文学館の森下辰衛先生を迎え講演会。教会内外より九〇名の出席あり。三浦綾子さんの自伝「道ありき」を中心にありのままの姿、愛と奇跡の人生に感銘を受けた。先月より計六回開かれた

「聖書人門講座」は、多くの方の出席を得て、恵まれた講座となりました、感謝。

▽紋別聖マリヤ教会

七月に入り、後半からやつと夏らしい気候に恵まれ農作物の成長が追い付こうとしています。それに比べ、牛は暑さに弱いのでやや乳量が下降気味。牛舎内は大型扇風機がフル活動しています。

七月七日、幼稚園運動会のため夕の礼拝。一四日、毎年避暑保養のため紋別に滞在している大阪の高橋ご夫妻が来られ、二二日の聖餐式終了後に歓迎の茶話会を開催いたしました。二八日、いつも礼拝

奉仕をして下さる内竹兄は飼いが逃げたため珍しく欠席いたしました。

▽有珠聖公会

二八日、主日聖餐式。祭壇

には、教会の境内に咲く、色鮮やかなオレンジのエゾスカシユリと、真っ白なサビタの花が清々しく飾られました。礼拝後、バザーについて話し合い、九月二八日の実施に向けて準備が始まりました。

また、一〇月五日に予定されている伊達ヘルシーウォークの経路にあたることから、どのように一行を迎えるかも話題となりました。

▽留萌キリスト教会

七月は記録的な少雨と、急激な高温に翻弄されました。二二日、一二時三〇分より墓前にて、イサク菅原久平さん逝去者記念の祈りを八名で行う。続いて、教会委員会とバザーの準備を勢いよく行いました。

二八日、宣教一八八年記念バザーを開催。大正琴の演奏が、とても好評でした。貴重な男性陣への断れないお手伝い依頼と、四〇代の働き手のおかげもあって、準備と片付

けが昨年よりも早くできました。陰に日向に、ご協力ありがとうございました。どうぞございました。

▽岩見沢聖十字教会

七月二日笠井さん宅、安藤三名字さん入所施設を池田司祭と信徒で訪問。安藤さんはその後施設を退所し自宅へ戻られた。

六日市民合唱団の定期公演に年長組出演。三曲をしつかり熱唱し大きな拍手を受ける。

二〇日聖十字フェスティバル、保護者の方々はじめ多くの団体が出店、教会も協力参加。飲食品、手作り手芸品等販売。太鼓や吹奏楽の発表も、ちよつと早い夏祭り気分。売上げの一部は外部の働きのために捧げられました。

幼稚園は二三日終業式をもって夏休みに入りました。

▽深川聖三教会

七月一一日保育園職員会議。主任より散歩経路の危険度把握と「ヒヤリ・ハット」ノート記録の指導あり。一二日園を会場としてお泊り会開催す。二一日婦人会、聖公会

婦人会より補助金をいただき

ドイツ首相アンゲラ・メルケル女史の『私の信仰』を購入し、読書会で学ぶ。教会報発送作業。二三日教区職員研修会に園長、チャプレン、岸上千枝、長野裕子二保育士参加す。研修会講師柴田智世先生の講演に一同感銘す。二八日留萌キリスト教会宣教記念行事に参加。バザーを開店す。

▽網走聖ヘテロ教会

教会の祈りの課題の一つが、ファミリーホームのあ代表・飯野まゆみ姉の働きであります。親が養育できない子ども五人を育てているまゆみ姉の心身共に強められますよう祈っております。七月一三〜一四日ニセコでの全道ファミリーホーム研究大会に出席し、その席上でまゆみ姉が事例発表を行いました。現在の養育状況についてでありま

す。今は自分の子どもを育てられない人が多くいます。他人の子どもを育てるのは大変な事です。今後共まゆみ姉の働き、そして健康が守られますようにお祈りします。

▽北見聖ヤコブ教会

出会いと交わりの日に甲斐先生がブレゼントしてくださった礼拝出席者名簿用紙はまもなく使用開始です。

使徒聖ヤコブ日は七月二五日なのですが、直近の司祭のいる主日ということで二一日に「使徒聖ヤコブ日記念礼拝」を献げ、聖ヤコブの足跡には北見聖ヤコブ教会の足跡につながっていることを覚えめました。

当教会は教会委員会の日のみではなくいつも様々なことについて語り合っています。九〇歳に近い方々ばかりですので、本心に祈り合い、助け合い、寄り合つて歩んでいきます。

▽今金インマヌエル教会

七月一四日、聖ヨハネ教会が当番で、青森・函館・今金の三教会合同礼拝が開催されました。今金からは八名が出席し、元町の教会訪問と外人墓地・聖ヨハネ教会共同墓地をめぐり、先人のご尽力と祈りに支えられて今の函館があることを実感しました。

七月二八日、オーストラリアから熊坂登司祭とその恩師グラント・モロー司祭が訪問され、日課の説教(通訳熊坂司祭)で守られました。翌日からの旅路の平安をお祈りしました。

教会周辺、熊出没注意!!
▽室蘭聖マタイ教会

七日み言葉の礼拝、週報と共に説教も送つてくださり司祭に感謝です。一四日、吉野司祭による聖餐式。昼食後、委員会開催、牧師館解体工事が九日に完了したとの報告。来月の墓地礼拝の日時を決める。出会いと交わりについての感想で継続してほしいとの希望ある。二一日、み言葉の礼拝。他教派の山岸さん参加。聖歌何時もより美しく響く。

二八日、初めての夏日。午後吉野司祭による聖餐式。平姉の娘福島さん埼玉より高齢の母を心配し時々来室、共に聖餐に与かる。

今月に入り毎日の様に濃霧雨に見舞われた日々でした。
▽聖マーガレット教会

教会周りに花々が咲いてい

ますが雑草も目につきます。婦人会でのお仕事会や毎月第四主日が外回りの清掃の日なのですが、雨や猛暑に見舞われ草取りも追いつきません。教会最高齢の大村茂夫さん、肺炎から回復され、元気を取り戻しておられます。一〇一歳を迎えます。

七月二一日主教様の巡回を頂き聖餐式、札幌キリスト教会のヴァレンタイン和田啓佑さんの堅信式も行われ、北星学園の教会礼拝勧めによるバスケ部員部の若い生徒さん一二名も加わり、久しぶりに礼拝堂が一杯になりました。早くも秋のバザーに向けて準備が始まろうとしています。

